

学生実習等オリエンテーションマニュアル

藤沢市民病院

- 1 実習生は法令及び当院の諸規定を遵守し、かつ実習指導者等の指示に従って実習を行ってください。
- 2 実習に際しては、当院の基本理念に基づいて取り組んでください。
【病院運営の基本理念】
 - 地域医療に貢献します。
 - 医療水準の向上に努めます。
 - 心のこもった安心できる医療体制を築きます。
 - 時代の要請にあった病院運営に努めます。
 - 患者さんとの信頼関係を高めます。
- 3 実習にあたり、次の書類に必要事項を記載して病院長に提出してください。なお、(1)(2)(3)については実習開始前に提出してください。
 - (1) 病院実習に係る個人情報保護に関する誓約書(様式1)
 - (2) 実習計画書
 - (3) 感染症抗体価検査等報告書
 - (4) 実習評価票
 - (5) その他必要書類
- 4 実習生は、当院と養成機関等が病院実習における責任・義務について協定書を交わしていることを踏まえ、学生としての責任を自覚して実習に臨んでください。
- 5 実習中は次の事項に注意してください
 - (1) 社会人としてふさわしい態度・言葉遣いを心がけてください。
 - (2) 常に清潔なユニフォームを着用し、必ず名札を着用してください。
 - (3) 実習期間中は実習に専念し、業務に対して非協力的な行動や、病院の秩序を乱す行為をしないでください。
 - (4) 実習期間中は、ロッカーと入退室管理システムICカードを貸与しますので、鍵及びICカードを紛失しないよう注意してください。
 - (5) 実習施設への交通手段は、原則として公共交通機関を使用してください。
- 6 個人情報
 - (1) 実習を行うにあたり、個人情報の保護に関する法律及び藤沢市個人情報の保護に関する法律の施行等に関する条例を遵守すること。
 - (2) 実習生が患者を受け持つ場合は、事前に患者または患者家族等の同意を得ること。

- (3) 実習において知り得た患者情報を、実習期間及び実習終了後についても外部に漏らさないこと。

7 感染対策

- (1) 実習生は、自己の健康管理の把握に努めること。また、実習前にワクチン接種を行うとともに、院内感染症対策に努めること（別紙1『実習中の感染予防対策』参照）。
- (2) 感染事故が発生した場合は、直ちに実習指導者に報告し、当院の『感染対策マニュアル』に従って行動すること。

8 危機管理

- (1) 実習のための登院途上に発生した交通事故等の災害に関しては、当院はその責を負いません。
- (2) 実習生が故意または過失等により設備・備品等を滅失又は破損した場合には、直ちに実習指導者に報告し、指示に従うこと。
- (3) 医療事故またはインシデント発生時には、直ちに実習指導者に報告し、実習場所の管理者をとおして医療安全対策室に報告する。その後の対応は当院の『医療安全管理マニュアル』に従って行動すること。

9 災害時は、実習責任者の指示に従って安全を確保してください。

10 病院長は、実習生が実習生としての適性を著しく欠くと認められる行為があった場合には、当該実習生の実習を中止し、実習受入れの承認を取消することができるものとする。

11 実習生の受入に関する事務は、病院総務課において行うこととする。

2024年9月1日施行

実習中の感染予防対策

1 標準予防策（スタンダード・プリコーション）

標準予防策は、汗を除くすべての血液・体液・分泌物・排せつ物・創傷のある皮膚・粘膜は伝播しうる感染性微生物を含んでいる可能性があるという原則に基づいて行われる標準的な予防策で、感染が疑われる、または確定しているかどうかに関わらず、医療が提供される場においてすべての患者に対して行われる。標準予防策の主な内容は、手指衛生（手洗い・手指消毒）、個人防護具（手袋、マスク、ガウンなど）の使用、呼吸器衛生（咳エチケット）で、そのほかに周辺環境の整備やリネン類の取り扱い、患者に使用した機材・器具・機器の取り扱い、安全な注射手技などが含まれる。

当院では院内感染対策基準を作成し、スタンダード・プリコーションと経路別予防策による感染防止に取り組んでいる（表1参照）。

2 感染対策の実際

(1) 手指衛生

全ての医療行為の基本となり、感染防止に対して一番大きな役割を果たすのが手洗い（手指消毒）である。2002年のCDCの「医療現場における手指衛生のためのガイドライン」では、従来の『石鹸と流水による手洗い』を基本とする考えの代わりに『擦式消毒用アルコール製剤を使用した手指消毒』が推奨されている。

(2) 防護用具の使用

学生は、手指に傷を作らないように注意し、傷がある場合はディスポーザブルの手袋などを使用する。詳細については、当院の指導者の指示を受ける。

(3) 器具の消毒

使用した体温計、聴診器なども使用後にアルコール綿で消毒する。

(4) 医療器機・器材

学生が使用する場合は、取り扱い方法等実習担当者と調整する。

(5) 医療廃棄物の取り扱い

当院の実習場所で定められた廃棄物分別方法に従い処理する。

(6) 針刺し粘膜暴露

針刺し・粘膜暴露が起きた場合には、速やかに次週担当者に報告する。

(7) その他

実習に入る前に、医療従事者として必要なワクチン接種を推奨しています。

（麻疹・水痘・ムンプス・B型肝炎・インフルエンザ等）

3 その他

不明な点があれば、実習場所の指導者等にお尋ねください。

表1 スタンダード・プリコーションと感染経路別予防策の具体策

	スタンダード・プリコーション (全患者共通)	スタンダード・プリコーションに付加される感染経路別予防策		
		空気感染	飛沫感染	接触感染
対象疾患	疾患に関わらず全ての患者に適応	結核菌、麻疹ウイルス、水痘ウイルス、帯状疱疹ウイルス	インフルエンザウイルス、髄膜炎菌、ジフテリア菌、マイコプラズマ、百日咳菌、(肺)ペスト菌、溶血性連鎖球菌、アデノウイルス、ムンプスウイルス、風疹ウイルス	M R S A、V R E、などの多剤耐性菌、緑膿菌、セラチア、腸管出血性大腸菌、赤痢菌、コレラ菌、チフス菌、A B C型肝炎ウイルス、ロタウイルス、単純ヘルペスウイルス、クロストリジウムディフィシル、ヒゼンダニ、シラミ
手指衛生	<ul style="list-style-type: none"> ・体液、生体物質に触れた後 ・手袋を外した後 ・患者接触の間 ・目に見える汚れがある場合は石鹸と流水で手洗い ・汚れが無い場合は擦式消毒用アルコール製剤を使用する 			
手袋	<ul style="list-style-type: none"> ・体液、生体物質に触る時 ・粘膜、傷のある皮膚に触れる時 ・使用后、非汚染物、環境表面に触る前、他の患者の所に行くときは外し、手洗いする 			<ul style="list-style-type: none"> ・部屋に入る時、手袋を着用する ・汚染物に触った時は交換する ・部屋を出る時には外し、消毒剤で手洗いする
マスク	<ul style="list-style-type: none"> ・体液、湿性生体物質が飛び散って、目、鼻、口を汚染しそうな時 	<ul style="list-style-type: none"> ・個室に入る時にはN 9 5マスクをつける 	<ul style="list-style-type: none"> ・1 m以内で働く時は、サージカルマスク着用 	
ガウン	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服が汚染しそうな時着用する ・汚れたガウンはすぐに脱ぎ手洗いする 			<ul style="list-style-type: none"> ・患者に接触しそうな時は、部屋に入る時に着用し、部屋を離れる時に脱ぐ
器具	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染した器具は、粘膜、衣服、環境などを汚染しないように注意深く操作する ・再使用のものは清潔であることを確かめる 			<ul style="list-style-type: none"> ・できれば専用にする ・できなければ他患者に使用前に消毒する
リネン	<ul style="list-style-type: none"> ・汚染されたリネンは、粘膜衣服、他の患者や環境を汚染ないようにビニール袋に入れ、移送処理をする 			
患者配置	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を汚染させる恐れのある患者は個室収容する ・個室がない場合は専門家に相談する 	<ul style="list-style-type: none"> ・個室隔離部屋の条件 ①陰圧 ②1時間に6回の排気 ③院外排気 	<ul style="list-style-type: none"> ・個室隔離あるいは集団隔離あるいは1 m 離す(カーテン隔離) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個室隔離あるいは、集団隔離あるいは、病原体の疫学と患者人口を考えて対処する
患者移送		<ul style="list-style-type: none"> ・制限する ・必要な際サージカルマスク着用 	<ul style="list-style-type: none"> ・制限する ・必要な時サージカルマスク着用 	<ul style="list-style-type: none"> ・制限する
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・針刺し事故対策 ・環境対策 			<ul style="list-style-type: none"> ・バンコマイシン耐性菌対策